

# 2022（令和4）年度 社会福祉法人長松会 事業報告書

## 1 法人の運営

(1)所在地 長崎県松浦市御厨町里免395番地1

### (2)法人の運営方針

- ① 健全な財政基盤の確立。
- ② 介護保険制度に適合した施設の充実。
- ③ 地域の中の福祉拠点となるように努力する。

(3)役員数 理事 6名 評議員 7名 監事 2名

### (4)事業内容

① 特別養護老人ホーム 青山荘 定員 70名

	施設長	生活 相談員	介護支援 専門員	看護師	介護員	機能訓練 指導員	管理 栄養士	事務員	宿直員
令和4年4月1日	1	1	1	4	20(10)	1	1	2	2
令和5年3月31日	1	1	1	4(1)	21(8)	1	1	2	2

② 特別養護老人ホーム 春風荘 定員 30名

	管理者	生活 相談員	介護支援 専門員	看護師	介護員	機能訓練 指導員	管理 栄養士	事務員	宿直員
令和4年4月1日	1	1		3(1)	14(2)			2	
令和5年3月31日	1	1		3(1)	13			2	

③ 通所介護事業所 春風荘 定員 18名

	管理者	生活 相談員	介護支援 専門員	看護師	介護員	機能訓練 指導員	管理 栄養士	事務員
令和4年4月1日	1	1		1	3			
令和5年3月31日	1	1		1	3(1)			

④ 居宅介護支援事業所 春風荘 介護支援専門員(管理者兼務) 1名

⑤ 生活困窮者レスキュー事業

## 2 理事会の開催状況

開催年月	場 所	議 題
令和4年5月28日	春風荘会議室	(1) 令和3年度 社会福祉法人長松会 事業報告(案)について (2) 令和3年度 社会福祉法人長松会 決算報告(案)について (3) 社会福祉法人長松会 定時評議員会の招集(日時・場所・議案)について
令和4年12月26日	春風荘会議室	(1) 社会福祉法人長松会 理事候補者の推薦について (2) 社会福祉法人長松会 臨時評議員会招集についての
令和5年1月12日	春風荘会議室	(1) 社会福祉法人長松会 理事長の選任について (2) 社会福祉法人長松会 一次補正予算について 報告事項 職務執行状況の報告について

令和5年3月25日	春風荘会議室	(1) 令和4年度 社会福祉法人長松会 二次補正予算(案)について (2) 令和5年度 社会福祉法人長松会 事業計画(案)について (3) 令和5年度 社会福祉法人長松会 当初予算(案)について (4) 社会福祉法人長松会 定款変更(案)について (5) 各事業運営規程 一部変更(案)について その他 社会福祉法人指導監査結果報告、他
-----------	--------	---

### 3 評議員会の開催状況

令和4年6月18日	春風荘会議室	(1) 令和4年度 社会福祉法人長松会 事業報告(案)について (2) 令和4年度 社会福祉法人長松会 決算報告(案)について (3) 社会福祉法人長松会 定款変更(案)について
令和5年1月12日	春風荘会議室	(1) 令和4年度 社会福祉法人長松会 理事候補者の選任について 報告事項 職務執行状況の報告について

### 4 監事監査の実施状況

実施日時	場 所	監査担当者	監 査 結 果
令和4年5月19日	青山荘会議室	小崎 富雄 古賀 昌男	事業報告・計算関係書類及び財産目録について、特段の意見なし

### 5 施設運営における委員会

特別養護老人ホーム 青山荘 各委員会

〔事故発生防止委員会〕 開催回数 4回

目標:「指差し呼称を定着させる」年間を通して呼びかけを行う。委員会のメンバーが率先して実施する。  
結果:朝礼でも行動目標と共に唱和行い、勉強会でも重要性を説明してきた。対応し忘れの件数は減少してきているが、指差し呼称を行っている姿をみかけることはなく、定着しているとは言い難い。長期的に定着を目指していきたい。

〔身体拘束廃止・虐待防止委員会〕 開催回数 4回

目標:「丁寧な言葉遣いと心のこもった言葉遣いで利用者に接する」丁寧な言葉遣いであっても心がこもっていなければ信頼関係は築けない。  
結果:職員間で目標を意識し合い日々介護に努めた。心のこもった丁寧な言葉遣いをほとんどの職員が意識しているが、忙し追われている際に時折「待って」と言葉を発してしまう場面も目にした。これからも職員間での意識を高めていきたい。

〔感染防止委員会〕 開催回数 5回

目標:荘内感染を起こさない  
結果:令和4年12月19日より施設内にてコロナ感染者が発生、対策を進めていくも、結果的に利用者32名職員14名の感染者が出る大クラスターとなった。最後の感染者解放まで49日間を要し、沢山の問題点、反省点が出ることとなった。

〔褥瘡予防対策委員会〕 開催回数 4回

目標:「新たな褥瘡を作らない」体位変換・皮膚の観察を行い、早期発見し対応する。高リスク者の把握。  
結果:12月後半よりコロナクラスターとなり、ベット上での生活が多く、保清もできなかった。また、食事摂取量の低下もあり、褥瘡形成する人が多かった。目標であった新たな褥瘡を作らないは達成できず。今後、圧迫・ズレ・よれに気を付け皮膚の観察を行い、早期発見に努める。摩擦を避けるためオムツ交換・体位変換後などシート・寝衣のシワや、縫い目・結び目にも注意する。  
体交枕を当てた写真を撮り枕元に掲示し、確実に体交枕を当てるように気を付ける。

〔業務改善委員会〕 開催回数 6回

目標:「多職種とも情報共有をしっかりと行う」変更内容、状態など誰が見てもすぐわかるように記録を残す。  
結果:例年になく介護職員の退職があったり、コロナのクラスター発生があり、仕事をこなすだけで精一杯になり利用者優先、余裕を持った介護ができなくなっていた。

〔接遇委員会〕 開催回数 6回

目標:「スピーチロックにならない言葉かけをする」気持ちに余裕をもつ、やさしい言葉かけ。  
結果:気を付けていてもついつい出てしまった。バタバタしているときは特に不十分だった

〔レクリエーション委員会〕 開催回数 10回

目標:それぞれの利用者の状況に合わせたレクリエーションの提供  
結果:コロナの影響や職員不足もあり予定した、ドライブができなかったが塗り絵・壁画作成・フラワーアレンジメント・修二・魚釣りなどコロナの状況に応じて実施することができた。魚釣りはとても喜んでおられたのでもう少し回数を増やしてもいいのではないかと思う。  
クリスマスのツリーやひな祭りのひな壇を飾ることで季節感を感じられたと思う。

〔看取り介護委員会〕

看取り介護終了後カンファレンス報告

看取り介護対象者の家族に対し「看取り介護実施に関するアンケート」  
職員に対し、「見取りについてのアンケート」「見取り確認シートのまとめ」

〔給食委員会〕 開催回数 11回

目標:原材料の高騰等で献立への影響も様々あるが、提供量の調整や残食率の把握を行いながら食材ロスを少なくすることで対応していきたい。  
結果:各部署からの指摘事項のほとんどが確認不足、周知不足が招くことであり、忙しい中ではあるが動作にメリハリをつけ、確認作業は時間をかけて確実に漏れないように再度徹底していきたい。  
年末からの感染対応では緊急対応を求められた際、慌てたりいつも以上のミスが重なるなどの不手際が見られたため、日頃の業務内容がいつも確実にできることが必要であると感じた。

特別養護老人ホーム 春風荘 各委員会

〔事故発生防止委員会〕 開催回数 8回

目標:「ヒヤリハットカードを活用し、事故を未然に防ぐ」ヒヤリハットを活用することで意識をもって行動することにより、事故を減らすことにつながる。  
結果:ヒヤリハットカードの提出が以前より増えた。職員も意識をもって行動できた。

〔身体拘束廃止・虐待防止委員会〕 開催回数 8回

目標:「言葉遣いの拘束をゼロにする」スピーチロックをなくすよう心掛けて1年間活動する。  
結果:各自の意識付けが浸透できず無意識に「ちょっと待って」「立たないで座って」等理由を説明せずまだ言葉にしている。

〔感染防止委員会〕 開催回数 4回

目標:「施設内消毒を継続する」毎日手すり及び各部屋の消毒を行う。各自消毒スプレーを今後も活用していく。  
結果:1階の消毒は現在も継続できているが、2階はなかなか毎日行えていない。  
固定設置している消毒に関してはできていたが、携帯用消毒スプレーについては活用している人が少なかった。今後も、消毒は必要に応じて継続していく。

〔褥瘡予防対策委員会〕 開催回数 4回

目標:「褥瘡をつくらない。」持ち込み褥瘡の方が1名おられるため悪化させないように毎日観察、処置、体交を行う。

結果:一時的に仙骨部の表皮剥離のある方(入荘時より)は1名あったが毎日の処置で消失した。

目標は達成できたと思う。

〔医療的ケア対策推進委員会〕 開催回数 5回

目標:人体構造について勉強会を開いていく

結果:利用者の中に子宮脱の方がおられ日常生活に支障をきたしておられた為、女性生殖器について学び現場でのケアに反映することができた。

〔業務改善委員会〕 開催回数 7回

目標:入所者様が発するサインを見逃さず、その意をくみ取るために、コミュニケーションをより深め、適切なケアを行っていく。

結果:職員個々にコミュニケーションが取れている場面、不足している場面も見られ、意思の疎通不足も見られた。入居者様が快適な生活を送られるよう今後もコミュニケーションを深めていく。

〔接遇委員会〕 開催回数 7回

目標:利用者様の笑顔が増えるような声掛け、対話を行っていく

結果:忙しい時等是对応できないことも見られた。その際には説明を行いながら今後も継続して対応・対話を行っていく。笑顔は多く見られるようになられた方もたくさんおられた。

〔レクレーション委員会〕 開催回数 10回

目標:①みんなで作り壁画を充実させる。②体操やストレッチなど体を動かすレクをやっていく。

結果:① 1階・・・出来なかった。出来る利用者様が少なくほとんど職員が作っていた。

2階・・・出来る利用者は少なくなったが、積極的に声掛け行い参加してもらった。

今後も職員だけで作るのではなく下準備をしておけば利用者様と一緒に作れるのではないか。色塗り等出来そうな事をしてもらう。

② 1階・・・初めは出来ていたが、段々と出来る方も減り、日によっては職員の数も少なくなかった。

2階・・・時々リズム体操や風船バレーをしたが回数的には少なかった。